

特集

令和8年7月22日
東京税関

うなぎの輸入

- 東京税関管内へのうなぎの輸入数量、金額が全国分の過半を占め全国トップ！
- 中国が主な輸入相手国！
- うなぎの国際取引が2025年のワシントン条約会議で議題に！

【はじめに】

2026年夏の「土用の丑の日」は7月26日(日)です。うなぎは多くのビタミンを含み、夏バテ予防に必要な栄養素が豊富に含まれています。

こうした面からも毎年夏に多く消費されるうなぎ。現在、日本では国内生産量よりも輸入量が多い状況となっている中、2025年のワシントン条約会議において、うなぎの国際取引が議題に上りました。

このうなぎについて、東京税関管内への2025年の輸入数量、金額を調べたところ、税関別に見て、ともに全国で最も多くなっていました。そこで、ワシントン条約会議において議題に上ったことにも触れ、今回の特集では、うなぎの輸入について取り上げます。

この特集で取り上げるうなぎの輸入数量、金額は、以下の輸入統計品目番号に属する品目のものだワン。

- ・ 活うなぎ : 0301.92-200 (生きているもので、養殖用の稚魚以外のもの)
- ・ うなぎ調製品 : 1604.17-000 (調製し又は保存に適する処理をしたもの)



【うなぎの種類・生態】

水産庁によると、ウナギ属は世界に19種・亜種が生息しており、そのうち広く食用とされる種は主に4種(ニホンウナギ、アメリカウナギ、ヨーロッパウナギ、バイカラウナギ※1)です。

なお、うなぎは成長段階と見た目で呼び名が変わり、ニホンウナギを例にすると以下の通りです※2。



※1 バイカラウナギは、バイカラ・バイカラと、亜種であるバイカラ・パシフィカの2種が広く食用とされているようです。

※2 海外では「レプトセファルス」は「leptocephalus」、「シラスウナギ」は「glass eel」、「クロコ」は「elver」、「黄ウナギ」は「yellow eel」、「銀ウナギ」は「silver eel」と呼ばれており、基本的に日本と同様の区分で、成長段階による呼称の違いは、国によって大きな差はないようですが、「黄ウナギ」と「銀ウナギ」については、うなぎの種類によっては分けていない可能性もあります。

【出典】水産庁「ウナギをめぐる状況と対策について(令和8年3月)」 <https://www.jfa.maff.go.jp/j/saibai/attach/pdf/unagi-265.pdf>

【「夏の『土用の丑の日』にはうなぎ！」の始まり】

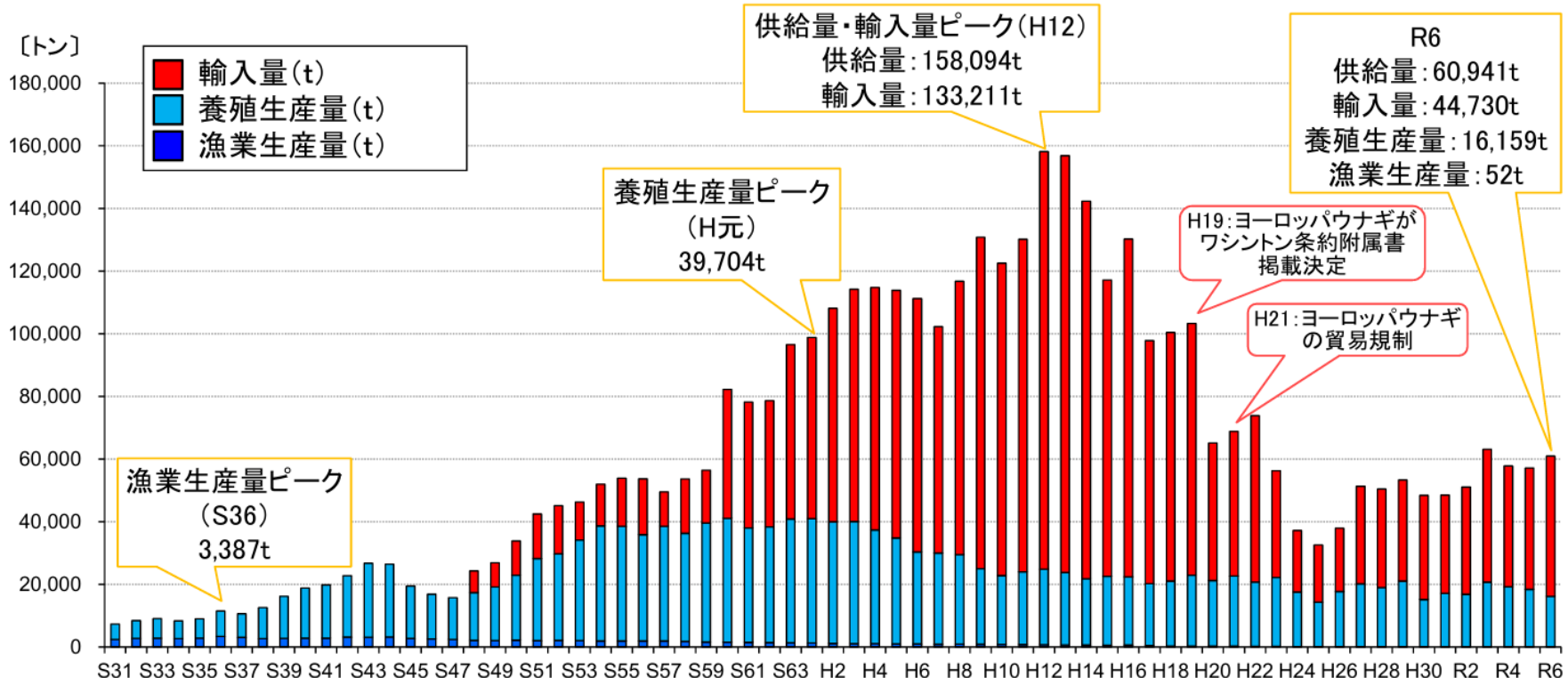
諸説ありますが、有名なものとして、江戸時代に平賀源内が「土用の丑の日にはうなぎを食べよう」という広告を行ったことに端を発するとする説があります。

他の説としては、春木屋善兵衛の逸話があります。これは、「江戸時代、善兵衛は殿様にうなぎの蒲焼きを納めていた。ある時、大量の注文を受け、『子の日・丑の日・寅の日』の3日に分けてうなぎを焼き、土蔵に保存した。そのうち、丑の日に焼いたうなぎだけが風味を損なわなかったことから、『うなぎの蒲焼きは丑の日に限る』という評判が立ち、『土用の丑の日』の風習として定着した」というものです。

【うなぎ供給量の推移】

日本国内におけるうなぎの供給については、昭和47(1972)年までは国内生産(「養殖生産」及び「漁業生産」)によって支えられていました。しかし、昭和48(1973)年に輸入が開始され、昭和60(1985)年に国内生産量と輸入量の割合が逆転すると、それ以降は輸入量が多い状況が続いています。近年では、国内生産量が約2万トンとなる中、輸入量が約3万トンから4万トンとなっています。

なお、ヨーロッパウナギは、平成19(2007)年にワシントン条約附属書Ⅱに掲載され、平成21(2009)年に貿易規制対象となりました。現在、EU加盟国は輸出許可書を発給していないため、EU加盟国からの輸出は行われていません。

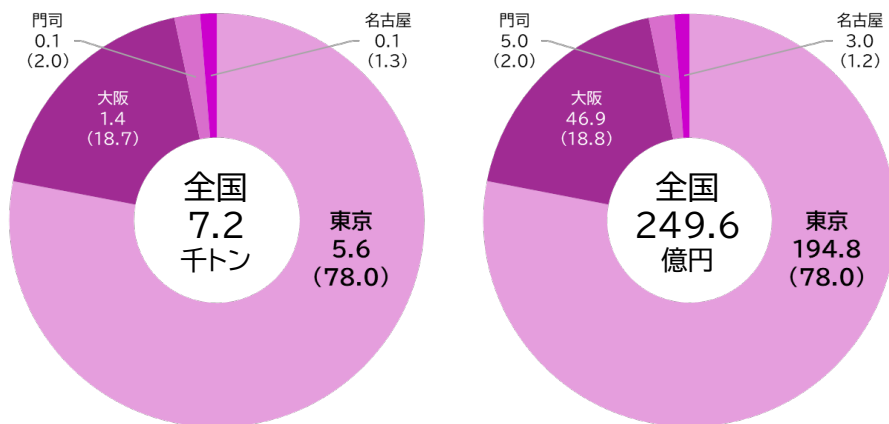


資料: 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」及び財務省「貿易統計」を基に、加工品について原魚量に換算(÷0.6)している。

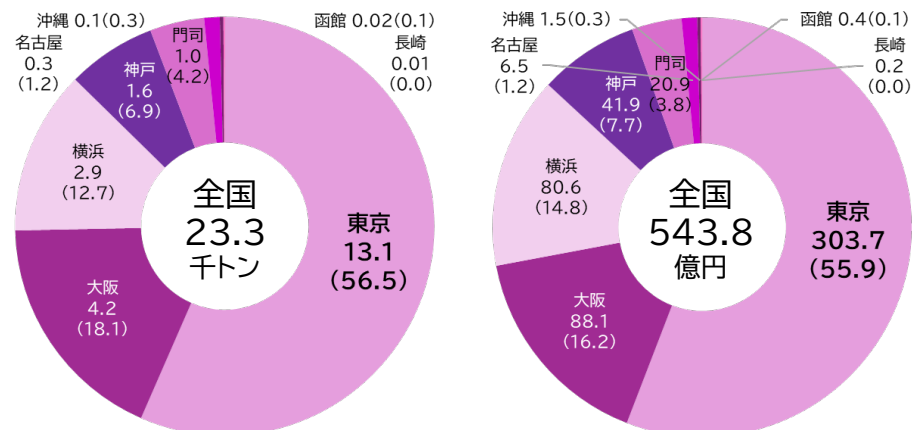
【税関別輸入実績(2025年)】

2025年において、東京税関管内への輸入が全国に占める割合は、数量、金額ともに活うなぎでは約8割、うなぎ調製品では約6割でした。

【活うなぎ】



【うなぎ調製品】



※ カッコ内は全国に占める割合(%)。グラフ未掲載の税関は実績なし。

【「土用の丑の日」とは？】

季節の変わり目である「土用」の期間中に巡ってくる「丑の日」のことです。

「土用」・・・年に4回訪れる季節の節目(立春、立夏、立秋、立冬)の前の約18日間のことです。

「丑の日」・・・昔の暦では干支を循環させて日ごとに割り当てており、12日に一度やってくる「丑」にあたる日のことです。

このことから、「土用の丑の日」は、夏以外の季節にもあることがわかります。

なお、夏の「土用の丑の日」にうなぎを食べる風習はよく知られていますが、長野県岡谷市では冬に「寒の土用の丑の日」があるなど、他の季節にもうなぎを食べる風習があります。

【年別輸入動向】

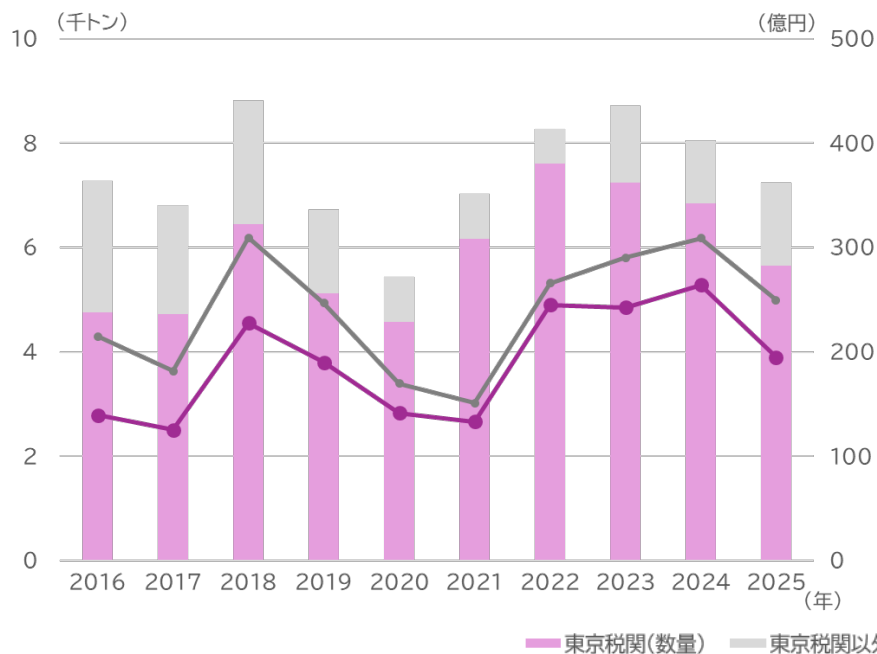
活うなぎの日本への輸入は、2016年以降、数量では約5.5千トンから9千トン弱、金額では150億円から300億円の間で推移しています。一方、うなぎ調製品の輸入は、数量、金額ともに増加傾向です。

日本鰻輸入組合によると、活うなぎについては、養殖されたニホンウナギがほとんどであり、輸入前年にシラスウナギを池入れ※3し、越年して成長した活うなぎを日本に輸入するため、輸入前年の池入れ量により輸入量の変動するようです。

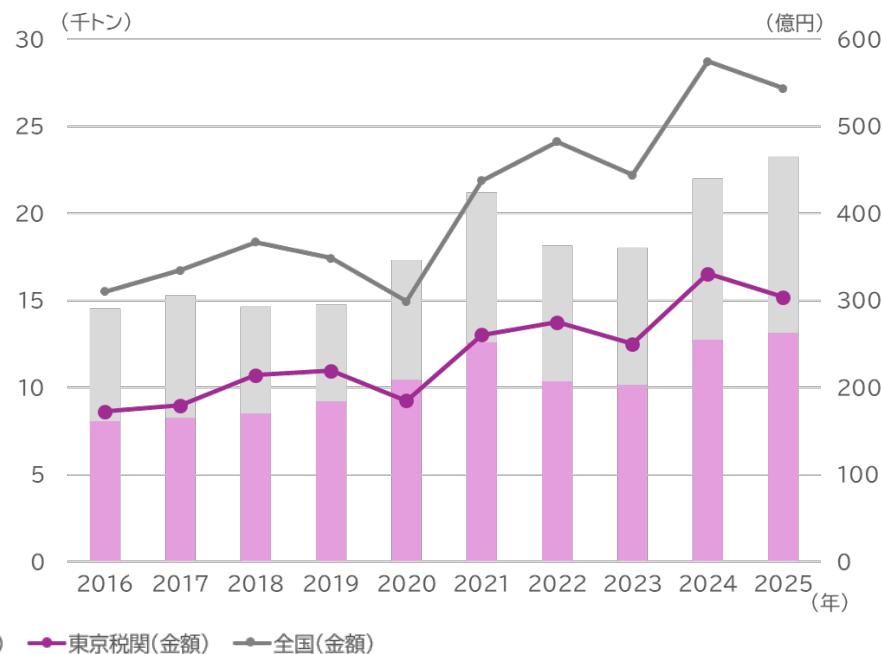
一方、うなぎ調製品の増加については、中国で養殖されたアメリカウナギを材料とした、冷凍うなぎのかば焼き等を調理して提供するチェーン店が、近年増えていることを要因としてあげています。

※3 うなぎ養殖業を営むことを目的として、うなぎ稚魚を養殖池に入れること。

【活うなぎ】



【うなぎ調製品】



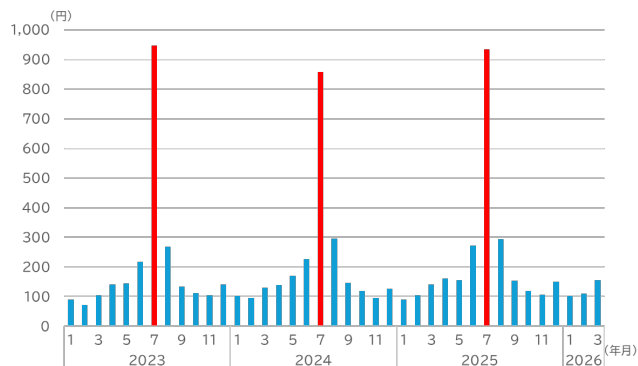
【月別輸入動向】

活うなぎは、7月に輸入数量、金額ともに増える傾向があります。長期間にわたり活うなぎを消費地などに置いておくと、うなぎが痩せたり死亡したりするリスクがあることから、夏の「土用の丑の日」に合わせて輸入が増加するようです。

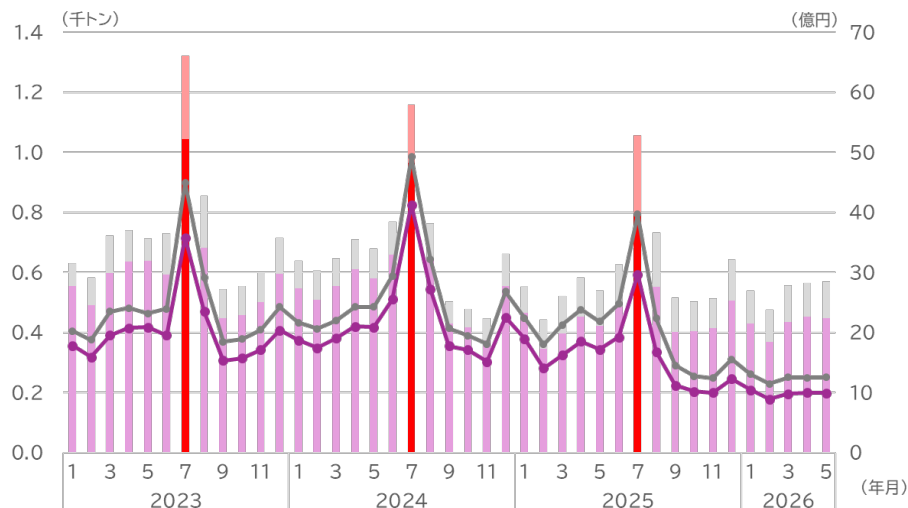
一方、うなぎ調製品は、4月から7月に輸入数量、金額ともに増える傾向があります。うなぎ調製品は活うなぎより長く保存が出来ることもあり、夏の「土用の丑の日」の数か月前から冷凍コンテナによる輸入が増加するようです。

なお、総務省が公表する「家計調査」によると、「うなぎのかば焼き」への支出は7月に多くなっています。このことから、うなぎの輸入動向は、消費動向を反映していることが窺えます。

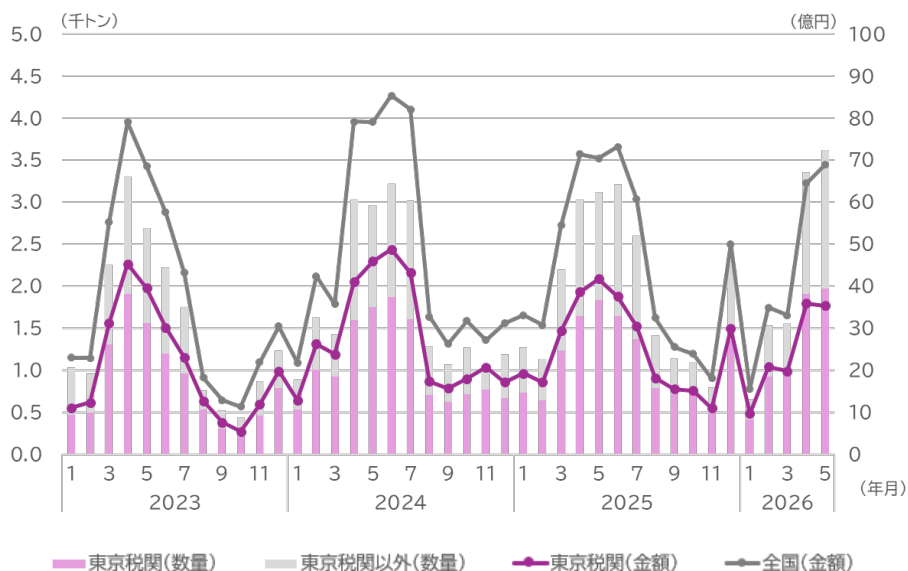
【家計調査「うなぎのかば焼き」月別支出推移】



【活うなぎ】



【うなぎ調製品】



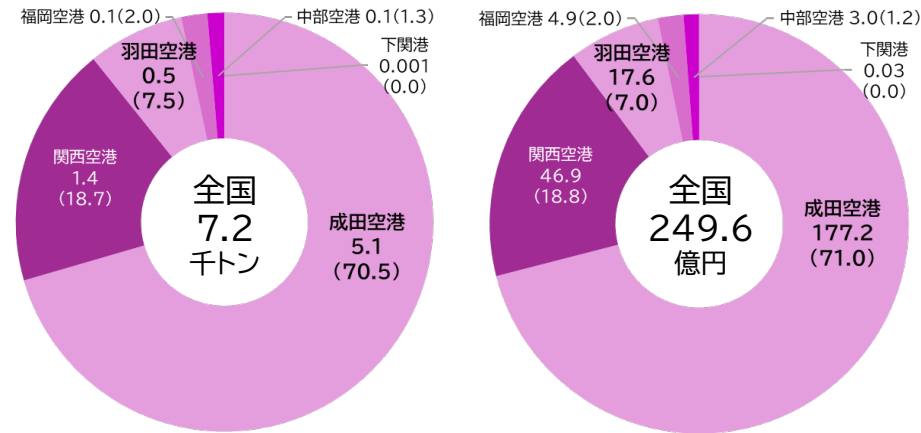
【港別輸入動向(2025年)】

活うなぎは、成田空港への輸入が最も多く、輸入数量、金額ともに全国の約7割を占めます。輸入される活うなぎは各消費地に卸すまでの間、東京周辺や静岡県などにある、消費地へ輸送するまでの中継地点となる問屋にて体力を回復させるそうです。そのため、問屋と距離が近い成田空港の港別輸入割合が高くなっているようです。また、輸入の際に利用している大型航空機の発着が成田空港に多いことも要因のようです。

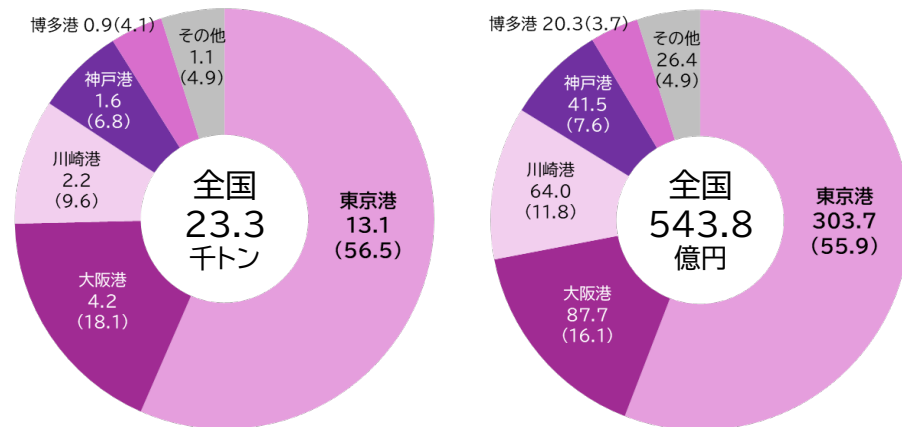
一方、うなぎ調製品は、東京港への輸入が最も多く、輸入数量、金額ともに全国の約6割を占めます。冷蔵倉庫が周辺に多くある東京港を利用していること、東京都での消費が多いこと、東京都に本社がある企業が多く、検品場所である港が近いことが理由としてあるようです。

なお、運送形態については、活うなぎは新鮮なうちに運ぶ必要があるため航空輸送を、うなぎ調製品は安く大量に運べ、且つ冷凍の必要があるため海上輸送を利用する傾向があります。

【活うなぎ】



【うなぎ調製品】

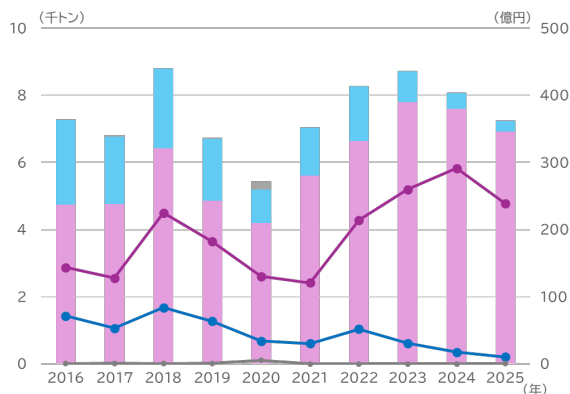


【国別輸入動向(2025年)】

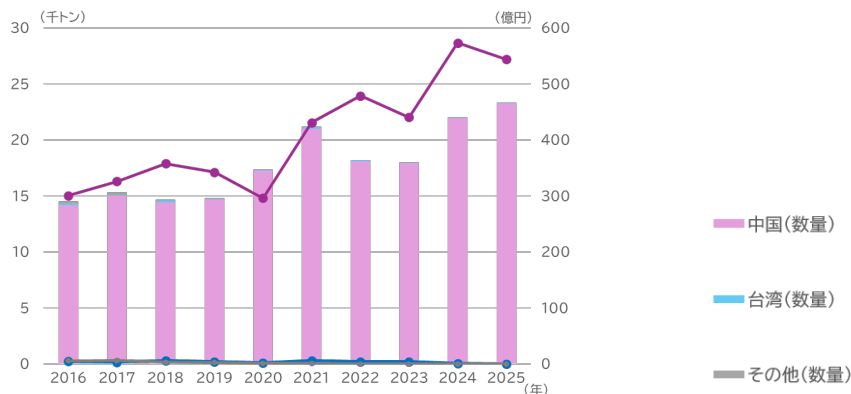
活うなぎ、うなぎ調製品ともに、ほとんどが中国から輸入されています。活うなぎについては、2016年以降、中国から輸入する割合が増加傾向です。

日本鰻輸入組合によると、背景には台湾産養殖うなぎの市場価格の高騰や、台湾での度重なる水害により養殖うなぎの生産量が減少したことなどがあり、その結果、台湾からの輸入が減少し、代わって中国からの輸入が増加しました。

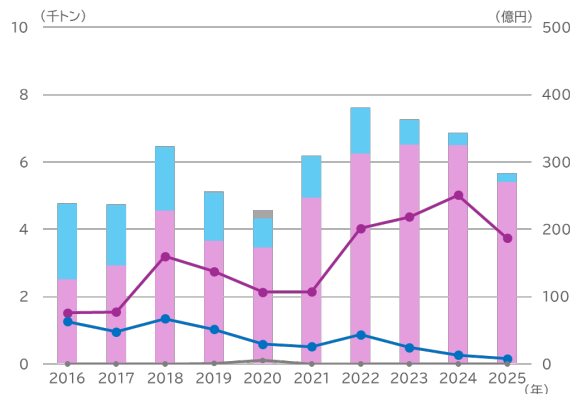
【活うなぎ・全国】



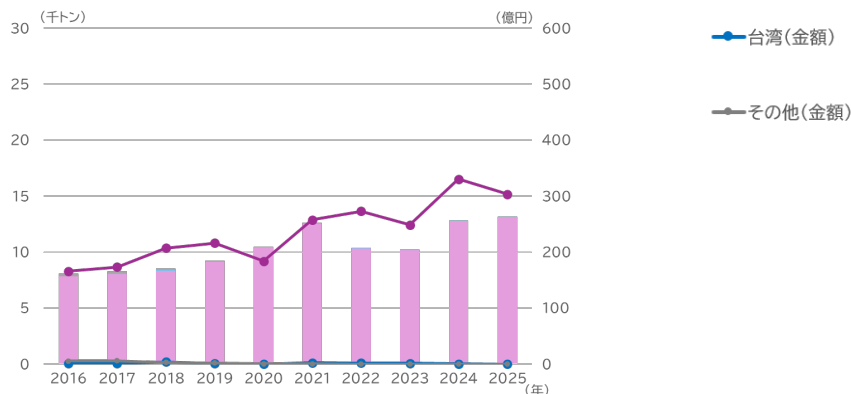
【うなぎ調製品・全国】



【活うなぎ・東京税関】



【うなぎ調製品・東京税関】



【うなぎの養殖】

水産庁によると、現在、商用目的のうなぎの養殖は、天然のシラスウナギを用いる方法で行われています。完全養殖※4は技術的には成功しているものの、商用化には至っていないこともあり、養殖うなぎの種苗となるシラスウナギを自然から採捕する必要があります。

※4 卵から育てた稚魚を親にして、さらにその卵をふ化させ、うなぎを成長させること。

【日本における採捕】

- 手すくいによるシラスウナギの採捕が約9割。
- 残りは定置網による採捕。
(千葉県等、一部地域のみ。伝統という側面も)
- 船による採捕は行われていない。

※ 日本ではシラスウナギの採捕は原則禁止。都道府県知事の許可があれば、許可を受けた採捕方法により採捕可能。

【中国、台湾における採捕】

- 船によるシラスウナギの採捕が主流。
- 台湾では定置網による採捕も。
(船による採捕量からみれば少ない)

【天然うなぎと養殖うなぎ】

天然うなぎは5年から6年、養殖うなぎは1年から2年で成長します。日本鰻輸入組合によると、成長年数が長いほど脂が乗るため、天然うなぎと養殖うなぎでは脂の量に差がつき、味に違いが出るそうです。

【中国や台湾からのうなぎの輸入】

中国や台湾からうなぎの輸入が多い背景のひとつとして、設備投資のコストが安いことがあげられます。うなぎの成長に適した水温は28度前後と言われており、中国や台湾では沖縄よりも南の温暖な気候下に養殖施設を整備することが多いため、加温設備等が不要である一方、日本ではコンクリート製の池を造り、それをビニールハウスで覆い、加温設備を備えた養殖施設とするため、中国や台湾で施設を整備する場合に比べて、設備投資のコストが高くなるようです。

【うなぎの国際取引にかかる議論】

ワシントン条約第20回締約国会議(2025年11月から同年12月にかけて開催)において、EU及びパナマが提出したウナギ属の全ての種を附属書Ⅱに掲載する提案について議論されました。

ワシントン条約附属書Ⅱに掲載されると、商業目的の国際取引は可能ですが、輸出入にあたっては、輸出国当局発給の許可書が必要になります。

【参考:ワシントン条約】

ワシントン条約※⁵は、自然のかけがえのない一部をなす野生動植物の特定の種が過度に国際取引に利用されることのないようこれらの種を保護することを目的とした条約です。この条約は、絶滅のおそれがあり保護が必要と考えられる野生動植物を附属書Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ3つの分類に区分し、附属書に掲載された種についてそれぞれの必要性に応じて国際取引の規制を行うこととしています。

	附属書Ⅰ	附属書Ⅱ	附属書Ⅲ
記載基準	絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの	現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの	締約国が自国内の保護のため、他の締約国・地域の協力を必要とするもの
規制内容	➢ 学術研究を目的とした取引は可能 ➢ 輸出国・輸入国双方の許可書が必要	➢ 商業目的の取引は可能 ➢ 輸出国政府の発行する輸出許可書等が必要	➢ 商業目的の取引は可能 ➢ 輸出国政府の発行する輸出許可書又は原産地証明書等が必要

※⁵ 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 (CITES: Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora)

【出典】 経済産業省「ワシントン条約について(条約全文、附属書、締約国など)」

https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/02_exandim/06_washington/cites_about.html

【うなぎの国際取引にかかる議論】

水産庁によると、EU等の提案、それに対する日本の主な主張は以下の通りです。

○EU等の提案

- シラスウナギや加工品において、ワシントン条約附属書Ⅱに掲載のヨーロッパウナギと、同附属書Ⅱに非掲載の、ヨーロッパウナギ以外のうなぎの外形は類似しており、種の判別が困難である。
- ニホンウナギやアメリカウナギの生息数が減少しており、絶滅のおそれがある。
- 上記2つは、それぞれ同附属書Ⅱ記載の基準を満たすため、ウナギ属の全ての種を掲載すべき。

○日本の主張

- 同附属書Ⅱに掲載するのであれば、科学的根拠に則るべき。
- ニホンウナギは、国内及び日本、中国、韓国、台湾で資源管理されており、科学的な資源評価においても絶滅のおそれはないことが示されている。
- DNA分析などにより種の判別は十分可能である。
- そのため、ウナギ属の全ての種を同附属書Ⅱへ掲載することは不要。

【議論の結果】

2025年11月27日に行われたワシントン条約第20回締約国会議の第一委員会において、EU等による提案が審議され、投票が行われた結果、多数の国の反対により**否決**されました。

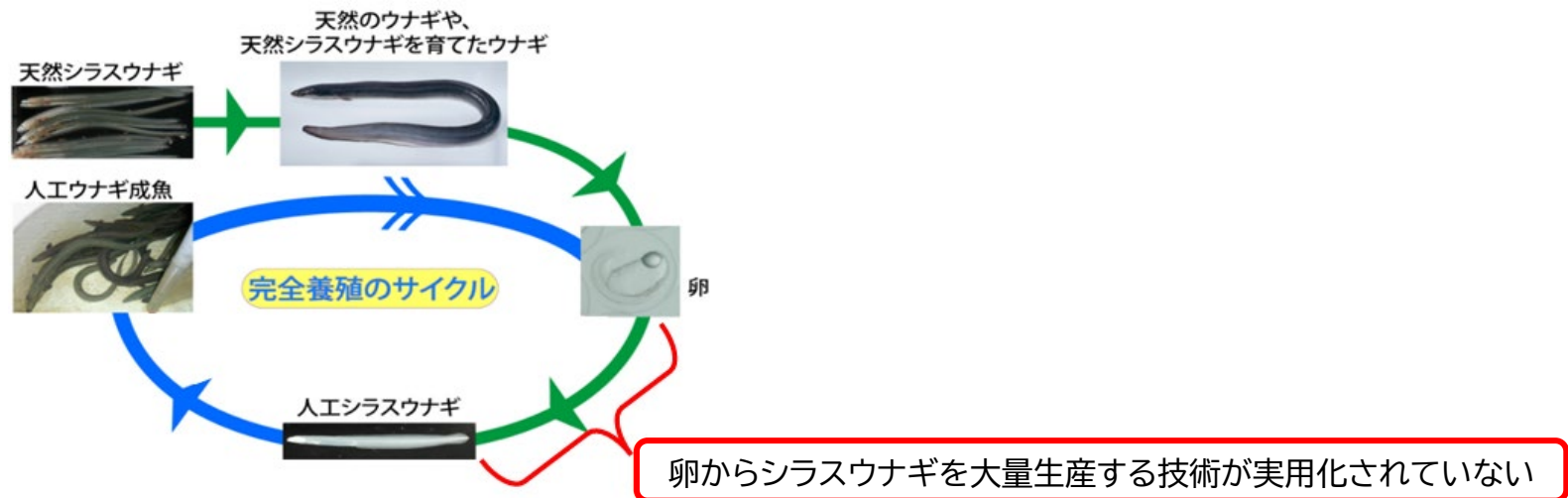
- 賛成:35か国 反対:100か国 棄権:8か国

上記結果が、12月4日に全体会合に報告され、本提案の否決が最終決定されました。

【おわりに】

水産庁によると、国際的な動きについて、EU等が「ウナギ属の全ての種を附属書Ⅱに掲載する提案」を次回ワシントン条約会議で再提案するかは、現時点では不明であるものの、日本としては、引き続き資源管理を行っていく必要があるとのことでした。

うなぎの完全養殖については、これまで技術的には成功していたものの※6、コスト面の課題が大きく、商用化には至っていませんが、仔魚の飼料などの研究が国内で進みコスト低減も図られてきており、直近では、商用化を目的として、完全養殖したうなぎの試験販売が始まりました。しかし、まだ通常の養殖うなぎよりも販売価格が高くなってしまったことから、今後も更なるコスト低減を目指す必要があります。



※6 研究レベルでは、2010年にうなぎの完全養殖に成功。

【出典】水産庁「ウナギをめぐる状況と対策について(令和8年3月)」 <https://www.jfa.maff.go.jp/j/saibai/attach/pdf/unagi-265.pdf>

【資料編】

【活うなぎ(0301.92-200)】

○税関別輸入実績(2025年)

税関	数量 (KG)	全国比 (%)	金額 (千円)	全国比 (%)
東京	5,643,317	78.0	19,479,037	78.0
大阪	1,352,973	18.7	4,689,647	18.8
門司	147,178	2.0	497,819	2.0
名古屋	93,963	1.3	295,534	1.2
合計	7,237,431	100.0	24,962,037	100.0

○年別輸入推移(全国、東京税関管内)

年	全国数量 (KG)	東京税関 数量 (KG)	全国比 (%)	全国金額 (千円)	東京税関 金額 (千円)	全国比 (%)
2016	7,276,145	4,752,738	65.3	21,477,108	13,939,544	64.9
2017	6,815,651	4,728,171	69.4	18,173,381	12,534,367	69.0
2018	8,812,748	6,451,005	73.2	30,913,804	22,749,849	73.6
2019	6,733,219	5,125,854	76.1	24,663,655	18,980,682	77.0
2020	5,441,062	4,564,854	83.9	16,962,793	14,154,890	83.4
2021	7,034,475	6,167,815	87.7	15,088,286	13,317,605	88.3
2022	8,267,435	7,604,086	92.0	26,591,989	24,515,884	92.2
2023	8,719,570	7,244,452	83.1	29,020,953	24,267,962	83.6
2024	8,062,459	6,847,073	84.9	30,900,517	26,394,145	85.4
2025	7,237,431	5,643,317	78.0	24,962,037	19,479,037	78.0

【うなぎ調製品(1604.17-000)】

○税関別輸入実績(2025年)

税関	数量 (KG)	全国比 (%)	金額 (千円)	全国比 (%)
東京	13,145,170	56.5	30,373,887	55.9
大阪	4,214,781	18.1	8,805,917	16.2
横浜	2,947,009	12.7	8,058,045	14.8
神戸	1,598,064	6.9	4,187,891	7.7
門司	975,142	4.2	2,091,341	3.8
名古屋	274,890	1.2	651,591	1.2
沖縄	71,300	0.3	148,421	0.3
函館	16,500	0.1	43,073	0.1
長崎	7,175	0.0	15,453	0.0
合計	23,250,031	100.0	54,375,619	100.0

○年別輸入推移(全国、東京税関管内)

年	全国数量 (KG)	東京税関 数量 (KG)	全国比 (%)	全国金額 (千円)	東京税関 金額 (千円)	全国比 (%)
2016	14,515,918	8,067,707	55.6	31,053,618	17,246,302	55.5
2017	15,286,685	8,283,223	54.2	33,479,862	17,981,403	53.7
2018	14,654,142	8,521,601	58.2	36,689,566	21,449,979	58.5
2019	14,805,960	9,211,192	62.2	34,896,875	21,928,045	62.8
2020	17,340,998	10,437,778	60.2	29,884,231	18,489,934	61.9
2021	21,199,363	12,607,834	59.5	43,764,311	26,053,239	59.5
2022	18,187,932	10,352,263	56.9	48,268,926	27,502,342	57.0
2023	18,018,152	10,183,998	56.5	44,429,985	25,000,665	56.3
2024	22,000,629	12,768,693	58.0	57,439,570	33,069,620	57.6
2025	23,250,031	13,145,170	56.5	54,375,619	30,373,887	55.9

【資料編】

【活うなぎ(0301.92-200)】

○月別輸入推移(全国、東京税関管内)

年	月	全国数量 (KG)	東京税関 数量 (KG)	全国比 (%)	全国金額 (千円)	東京税関 金額 (千円)	全国比 (%)
2023	1	631,940	553,960	87.7	2,027,825	1,787,189	88.1
	2	583,268	490,448	84.1	1,881,489	1,593,615	84.7
	3	724,286	598,409	82.6	2,351,745	1,956,909	83.2
	4	740,160	636,320	86.0	2,407,886	2,080,592	86.4
	5	713,005	639,592	89.7	2,321,099	2,091,948	90.1
	6	731,501	593,515	81.1	2,398,958	1,959,002	81.7
	7	1,323,096	1,044,280	78.9	4,500,517	3,582,503	79.6
	8	854,753	683,641	80.0	2,911,953	2,351,649	80.8
	9	544,617	448,240	82.3	1,851,436	1,538,012	83.1
	10	556,214	459,313	82.6	1,892,406	1,573,523	83.1
	11	601,236	500,436	83.2	2,045,693	1,714,585	83.8
	12	715,494	596,298	83.3	2,429,946	2,038,435	83.9
2024	1	638,831	547,521	85.7	2,169,867	1,872,055	86.3
	2	606,075	508,638	83.9	2,065,622	1,744,247	84.4
	3	646,039	555,816	86.0	2,200,224	1,904,553	86.6
	4	709,503	610,623	86.1	2,425,820	2,101,721	86.6
	5	679,362	580,170	85.4	2,431,134	2,090,382	86.0
	6	768,157	660,708	86.0	2,945,961	2,553,494	86.7
	7	1,157,918	964,150	83.3	4,922,697	4,130,559	83.9
	8	764,912	640,910	83.8	3,221,662	2,721,743	84.5
	9	503,735	429,900	85.3	2,070,039	1,779,653	86.0
	10	477,934	418,744	87.6	1,951,541	1,718,144	88.0
	11	447,060	373,900	83.6	1,811,562	1,518,747	83.8
	12	662,933	555,993	83.9	2,684,388	2,258,847	84.1
2025	1	552,449	465,875	84.3	2,246,829	1,898,101	84.5
	2	444,153	346,960	78.1	1,805,176	1,412,661	78.3
	3	522,448	398,240	76.2	2,131,887	1,629,341	76.4
	4	584,328	453,090	77.5	2,384,359	1,854,258	77.8
	5	538,717	422,690	78.5	2,184,013	1,719,425	78.7
	6	627,442	485,500	77.4	2,479,096	1,925,542	77.7
	7	1,056,880	790,081	74.8	3,968,822	2,969,528	74.8
	8	732,587	552,960	75.5	2,236,651	1,685,778	75.4
	9	517,734	401,276	77.5	1,456,092	1,124,823	77.2
	10	503,501	404,086	80.3	1,273,518	1,023,858	80.4
	11	513,850	414,525	80.7	1,241,788	1,004,462	80.9
	12	643,342	508,034	79.0	1,553,806	1,231,260	79.2
2026	1	538,977	431,552	80.1	1,304,955	1,047,485	80.3
	2	477,301	368,880	77.3	1,149,997	891,424	77.5
	3	557,708	436,209	78.2	1,255,478	984,402	78.4
	4	566,090	452,025	79.9	1,250,557	1,001,986	80.1
	5	569,957	448,897	78.8	1,258,733	994,365	79.0

【うなぎ調製品(1604.17-000)】

○月別輸入推移(全国、東京税関管内)

年	月	全国数量 (KG)	東京税関 数量 (KG)	全国比 (%)	全国金額 (千円)	東京税関 金額 (千円)	全国比 (%)
2023	1	1,029,766	464,897	45.1	2,296,614	1,106,881	48.2
	2	958,467	498,427	52.0	2,285,035	1,232,630	53.9
	3	2,251,909	1,301,904	57.8	5,530,485	3,113,735	56.3
	4	3,296,505	1,908,085	57.9	7,903,249	4,525,161	57.3
	5	2,686,051	1,561,784	58.1	6,851,528	3,955,184	57.7
	6	2,228,354	1,193,999	53.6	5,755,105	3,018,917	52.5
	7	1,749,637	961,815	55.0	4,328,632	2,304,109	53.2
	8	756,833	531,469	70.2	1,823,636	1,270,981	69.7
	9	520,541	306,236	58.8	1,288,048	764,120	59.3
	10	438,645	205,133	46.8	1,130,278	539,879	47.8
	11	872,453	460,702	52.8	2,188,487	1,186,488	54.2
	12	1,228,991	789,547	64.2	3,048,888	1,982,580	65.0
2024	1	889,681	530,070	59.6	2,179,573	1,291,736	59.3
	2	1,624,684	1,006,632	62.0	4,237,039	2,626,834	62.0
	3	1,425,064	928,312	65.1	3,568,002	2,379,583	66.7
	4	3,021,502	1,593,059	52.7	7,910,723	4,103,241	51.9
	5	2,966,476	1,748,729	58.9	7,905,460	4,588,636	58.0
	6	3,220,574	1,870,500	58.1	8,530,984	4,872,449	57.1
	7	3,020,455	1,607,872	53.2	8,205,484	4,317,346	52.6
	8	1,276,003	708,451	55.5	3,270,435	1,732,424	53.0
	9	1,069,979	620,399	58.0	2,626,625	1,574,437	59.9
	10	1,270,758	718,004	56.5	3,175,883	1,799,587	56.7
	11	1,024,743	769,605	75.1	2,714,372	2,070,314	76.3
	12	1,190,710	667,060	56.0	3,114,990	1,713,033	55.0
2025	1	1,269,517	729,831	57.5	3,307,495	1,921,788	58.1
	2	1,136,247	642,263	56.5	3,068,358	1,714,338	55.9
	3	2,200,402	1,229,300	55.9	5,449,255	2,931,586	53.8
	4	3,023,332	1,646,881	54.5	7,137,020	3,865,621	54.2
	5	3,120,336	1,837,037	58.9	7,034,632	4,168,811	59.3
	6	3,205,984	1,643,744	51.3	7,315,727	3,754,854	51.3
	7	2,600,093	1,370,560	52.7	6,063,849	3,043,039	50.2
	8	1,410,905	789,348	55.9	3,243,383	1,819,162	56.1
	9	1,139,335	714,898	62.7	2,552,214	1,549,569	60.7
	10	1,089,750	702,456	64.5	2,390,183	1,519,035	63.6
	11	799,738	490,078	61.3	1,808,385	1,098,405	60.7
	12	2,254,392	1,348,774	59.8	5,005,118	2,987,679	59.7
2026	1	650,664	413,543	63.6	1,561,120	970,484	62.2
	2	1,529,306	919,535	60.1	3,487,295	2,081,344	59.7
	3	1,551,118	974,538	62.8	3,309,382	1,981,560	59.9
	4	3,356,760	1,902,604	56.7	6,451,461	3,586,380	55.6
	5	3,614,471	1,972,432	54.6	6,881,450	3,535,034	51.4

【資料編】

【活うなぎ(0301.92-200)】

○港別輸入実績(2025年)

港	数量 (KG)	全国比 (%)	金額 (千円)	全国比 (%)
成田空港	5,103,148	70.5	17,720,990	71.0
関西空港	1,352,973	18.7	4,689,647	18.8
羽田空港	540,169	7.5	1,758,047	7.0
福岡空港	146,178	2.0	494,727	2.0
中部空港	93,963	1.3	295,534	1.2
下関港	1,000	0.0	3,092	0.0
合計	7,237,431	100.0	24,962,037	100.0

【うなぎ調製品(1604.17-000)】

○港別輸入実績(2025年)

港	数量 (KG)	全国比 (%)	金額 (千円)	全国比 (%)
東京港	13,145,124	56.5	30,373,347	55.9
大阪港	4,206,421	18.1	8,774,999	16.1
川崎港	2,238,989	9.6	6,398,575	11.8
神戸港	1,581,764	6.8	4,152,715	7.6
博多港	943,744	4.1	2,031,116	3.7
その他	1,133,989	4.9	2,644,867	4.9
合計	23,250,031	100.0	54,375,619	100.0

【資料編】

【活うなぎ(0301.92-200)】

○国別輸入推移(全国)

	中国				台湾				その他			
	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
2016	4,735,491	65.1	14,339,839	66.8	2,527,790	34.7	7,116,890	33.1	12,864	0.2	20,379	0.1
2017	4,762,222	69.9	12,776,430	70.3	2,013,309	29.5	5,321,334	29.3	40,120	0.6	75,617	0.4
2018	6,423,915	72.9	22,506,937	72.8	2,377,455	27.0	8,386,411	27.1	11,378	0.1	20,456	0.1
2019	4,867,399	72.3	18,225,203	73.9	1,830,016	27.2	6,362,998	25.8	35,804	0.5	75,454	0.3
2020	4,195,016	77.1	13,026,829	76.8	994,225	18.3	3,392,037	20.0	251,821	4.6	543,927	3.2
2021	5,601,631	79.6	12,071,460	80.0	1,429,297	20.3	3,007,343	19.9	3,547	0.1	9,483	0.1
2022	6,640,472	80.3	21,423,951	80.6	1,626,603	19.7	5,166,538	19.4	360	0.0	1,500	0.0
2023	7,794,872	89.4	25,961,411	89.5	924,508	10.6	3,058,684	10.5	190	0.0	858	0.0
2024	7,594,542	94.2	29,150,936	94.3	466,143	5.8	1,742,660	5.6	1,774	0.0	6,921	0.0
2025	6,922,635	95.7	23,879,943	95.7	304,952	4.2	1,045,849	4.2	9,844	0.1	36,245	0.1

○国別輸入推移(東京税関)

	中国				台湾				その他			
	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
2016	2,518,197	53.0	7,605,339	54.6	2,227,510	46.9	6,323,295	45.4	7,031	0.1	10,910	0.1
2017	2,920,197	61.8	7,733,395	61.7	1,799,987	38.1	4,788,982	38.2	7,987	0.2	11,990	0.1
2018	4,557,472	70.6	15,992,248	70.3	1,885,465	29.2	6,744,362	29.6	8,068	0.1	13,239	0.1
2019	3,659,263	71.4	13,748,068	72.4	1,434,734	28.0	5,164,904	27.2	31,857	0.6	67,710	0.4
2020	3,456,270	75.7	10,670,661	75.4	859,143	18.8	2,945,124	20.8	249,441	5.5	539,105	3.8
2021	4,937,951	80.1	10,729,321	80.6	1,228,804	19.9	2,586,633	19.4	1,060	0.0	1,651	0.0
2022	6,253,772	82.2	20,152,703	82.2	1,350,314	17.8	4,363,181	17.8	-	-	-	-
2023	6,522,555	90.0	21,820,940	89.9	721,822	10.0	2,446,673	10.1	75	0.0	349	0.0
2024	6,498,360	94.9	25,068,622	95.0	348,282	5.1	1,323,326	5.0	431	0.0	2,197	0.0
2025	5,408,625	95.8	18,665,389	95.8	233,907	4.1	809,164	4.2	785	0.0	4,484	0.0

【うなぎ調製品(1604.17-000)】

○国別輸入推移(全国)

	中国				台湾				その他			
	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
2016	14,188,435	97.7	30,060,676	96.8	117,947	0.8	432,474	1.4	209,536	1.4	560,468	1.8
2017	15,007,360	98.2	32,596,086	97.4	70,594	0.5	301,370	0.9	208,731	1.4	582,406	1.7
2018	14,416,333	98.4	35,766,784	97.5	123,640	0.8	610,351	1.7	114,169	0.8	312,431	0.9
2019	14,640,486	98.9	34,245,026	98.1	91,391	0.6	421,948	1.2	74,083	0.5	229,901	0.7
2020	17,263,135	99.6	29,598,772	99.0	41,660	0.2	198,022	0.7	36,203	0.2	87,437	0.3
2021	20,983,498	99.0	43,068,688	98.4	170,388	0.8	593,680	1.4	45,477	0.2	101,943	0.2
2022	18,101,534	99.5	47,846,257	99.1	86,398	0.5	422,669	0.9	-	-	-	-
2023	17,940,617	99.6	44,013,092	99.1	77,535	0.4	416,893	0.9	-	-	-	-
2024	21,980,123	99.9	57,319,604	99.8	20,506	0.1	119,966	0.2	-	-	-	-
2025	23,245,581	100.0	54,354,410	100.0	4,450	0.0	21,209	0.0	-	-	-	-

○国別輸入推移(東京税関)

	中国				台湾				その他			
	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (KG)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
2016	7,834,511	97.1	16,604,585	96.3	23,897	0.3	82,150	0.5	209,299	2.6	559,567	3.2
2017	8,054,132	97.2	17,320,646	96.3	21,327	0.3	79,887	0.4	207,764	2.5	580,870	3.2
2018	8,326,787	97.7	20,745,061	96.7	87,480	1.0	402,201	1.9	107,334	1.3	302,717	1.4
2019	9,117,187	99.0	21,600,868	98.5	26,472	0.3	114,722	0.5	67,533	0.7	212,455	1.0
2020	10,405,603	99.7	18,386,939	99.4	7,420	0.1	27,048	0.1	24,755	0.2	75,947	0.4
2021	12,509,555	99.2	25,736,983	98.8	79,040	0.6	262,775	1.0	19,239	0.2	53,481	0.2
2022	10,315,465	99.6	27,308,546	99.3	36,798	0.4	193,796	0.7	-	-	-	-
2023	10,157,963	99.7	24,851,296	99.4	26,035	0.3	149,369	0.6	-	-	-	-
2024	12,762,053	99.9	33,036,171	99.9	6,640	0.1	33,449	0.1	-	-	-	-
2025	13,140,720	100.0	30,352,678	99.9	4,450	0.0	21,209	0.1	-	-	-	-

【出典】 財務省貿易統計。

本資料の貿易統計の数値は、2024年以前は確定値、2025年は確々報値、2026年1月から4月は確報値、5月は9桁速報値。

成田空港の数値は、成田空港と東京航空貨物出張所を合計したもの。

【取材協力】 日本鰻輸入組合、水産庁

本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

本資料に関するお問合せは以下へお願いします。
東京税関 調査部 調査統計課 TEL:050-5533-6995

東京税関

財務省貿易統計

検索

〒144-8616 東京都大田区羽田空港2-6-3 貨物合同庁舎
<https://www.customs.go.jp/tokyo/>